

行政事業レビューシート						(環境省)
予算事業名	ダイオキシン類総合調査費		事業開始年度	平成10年度～		作成責任者
担当部局庁	環境保健部		担当課室	環境リスク評価室		塚本直也
会計区分	一般会計		上位政策	化学物質対策の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ダイオキシン類対策特別措置法第6条、第39条		関係する計画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	法律に基づく基準値として、ダイオキシン類の耐容1日摂取量を定めている。本調査は、各種モニタリング調査の結果を総合して国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を推計するとともに、血液中のダイオキシン類濃度を実際に測定することにより、国民の健康を守るために必要な基準値がきちんと確保されているか、評価することを目的としている。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①ダイオキシン類の1日摂取量調査： ・食品や大気、水、土壌などの環境を経由して国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を、各種モニタリング調査のデータを収集・解析することにより、推計している。</p> <p>②血液中のダイオキシン類濃度調査： ・毎年150～250名の血液中のダイオキシン類を測定している。(平成14～21年度までに39道府県で調査を実施。未実施は8都県であり、平成22年度は5都県で実施予定)</p> <p>③ダイオキシン類に関する国際動向調査： ・主要な国際学会に参加するほか、文献調査によりダイオキシン類に関する最新の国際動向を把握している。</p>					
実施状況	<p>①ダイオキシン類1日摂取量調査： ・他省庁でも行われている調査を取り纏め、法定基準である耐容一日摂取量が確保されているか確認してきた。対策の成果を受けて、経年的な漸減傾向が見られている。</p> <p>②血液中のダイオキシン類濃度調査： ・毎年5都道府県で合計150～250名程度の血液調査を実施。平成14～21年度までに39道府県で実施済み。 ・1日摂取量の経年的漸減傾向に関わらず、血中濃度の調査結果は比較的安定している。 ・平成18年度より予算を減額、平成21年度からは調査地域内の対象を都市、農村、漁村の3カ所から、都市と農村か漁村の2カ所に絞るなど、調査の効率化を進めた。</p> <p>③ダイオキシン類に関する国際動向調査： ・主要な学会への参加、文献調査、レビューを行い、ダイオキシン類に関する最新の国際動向を把握した。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	154	112	102	94	58
	執行額	157	109	78		
	執行率	101%	97%	76%		
	総事業費(執行ベース)	157	109	78		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	調査の実施については、環境省職員が請負先とともに調査方法等を協議しつつ進めており、「ダイオキシン類のばく露実態把握調査検討会」および「ダイオキシン類をはじめとする人への化学物質の蓄積量調査検討会」においても、環境省職員が出席し、調査の設計や解析等が適正に履行されたことを確認している。また、毎年5都道府県で実施される血液中のダイオキシン類濃度調査についても、現地に環境省職員を派遣し、被験者への説明や検体採取に立ち会い、調査が適正に履行されたことを確認している。				
	見直しの余地	<p>①ダイオキシン類の1日摂取量調査： ・他省庁でも行われている調査を取り纏めて、法定基準が担保されているかを確認する唯一の調査。低コストであり、施策の効果を敏感に反映する指標でもある。毎年の調査を継続することが必要。</p> <p>②血液中のダイオキシン類濃度調査： ・世界的にも貴重なダイオキシン類生体モニタリングデータが集積しており、経年変化は比較的安定している。 ・あと2年で調査対象都道府県を一巡することから、調査の簡素化を検討(調査の実施を2年に1回とする、ある年に調査を行う都道府県数を絞るなど)。</p> <p>③ダイオキシン類に関する国際動向調査： ・主要な学会への参加や文献検索により、最新の情報を入手しているが、ダイオキシン類の毒性や発生機構、対策に関する知見は日進月歩であり、継続的な国際動向の把握が必要不可欠。</p>				
予算監視の効率化	<p>抜本的改善</p> <p>(これまでの分析結果や調査結果を踏まえ、調査地点や調査手法を見直し、効率的な事業実施方法に努めるべき。)</p>					
補記						

環境省  
78百万円

法律に基づく基準値として定めているダイオキシン類の耐容1日摂取量を定めている。本調査は、各種モニタリング調査の結果を総合して国民が1日に摂取しているダイオキシン類の量を推計するとともに、血液中のダイオキシン類濃度を実際に測定することにより、国民の健康を守るために必要な基準値がきちんと確保されているか、評価することを目的としている。

【総合評価入札】

A  
いであ(株)  
68百万円

- ①ダイオキシン類の1日摂取量調査
- ②血液中のダイオキシン類濃度調査

【一般競争入札】

B  
(社)環境情報科学センター  
9百万円

- ③ダイオキシン類に関する国際動向調査

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.いであ(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	摂取量・血中濃度調査費	68			
計		68	計		0
B.(社)環境情報科学センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	国際動向調査費	9			
計		9	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0